



西藤島小だより



☆学校教育目標 「やってみよう」の西藤島

～主体的に考え、多様性を認め合い、チャレンジを続ける児童の育成～

令和7年5月30日

☆めざす児童像「学ぶ子」「やさしい子」「強い子」

第9号

福井市三郎丸1丁目1410 TEL (0776)22-8820 FAX (0776)22-6809

URL <http://www.fukui-city.ed.jp/ni-fuji-e/> MAIL ni-fu-e@fukui-city.ed.jp

交通安全教室を行いました。(5・6年生)

5月27日、5・6年生を対象に交通安全教室を行いました。5・6年生対象の交通安全教室は、近年行っていなかったのですが、今年度に入って、福井市内で小学生が関わる交通事故が増えていること等を受けて、「命について考える」というテーマで行いました。講師としてお招きしたのは、20数年前に本校に通われていたお子様を交通事故で亡くされた 福井被害者支援センターの宮地 美貴子 様です。

宮地 様は、当時小学6年生だったご子息を、自転車の事故で亡くされました。笑顔の絶えない明るいご家族を襲った突然の事故、その後、意識が戻らないご長男を必死で看護されたこと、しかし甲斐なく約5ヶ月後に旅立たれたことなどを、涙ながらにお話しされました。親や周りの人の思い、突然命を絶たれた息子さんの無念などを丁寧に語りながら、普段私たちが「あたりまえ」と思っていることがそうではないこと、命はかけがえのないものだということに改めて気づかされました。

宮地様からの言葉でぜひ心に留めておきたいことと、子どもたちの感想を少し紹介します。

- ◎生きてると、うまくいかない時や苦しい時がある。そのときは、「助けて。」と周りの人に助けを求めよう。また、生きたかったのに生きられなかった人のことを考えよう。
- ◎大切なことは、自分の命を次へつなげていくこと、周りの人の命も大事にすること。
- ◎自転車に乗るとき、自分を守る行動を（ヘルメットをかぶるなど）しよう。
- ◎命に感謝して、楽しく豊かに生きていこう。

泣きながら話してくれた宮地さんを見て、親は自分をとても愛してくれているのだとよく分かりました。帰り道や遊びに行くときなど、自転車に乗るとき必ずヘルメットをかぶります。

いつも命は大切だということは考えていなかったのですが、これからは、死んでしまった人の悲しさや死んでしまった人の苦しさを、そして命はとっても大切だということを忘れずに生きていきたいと思いました。

お話を聞いて、命は何よりも大切だともいえました。命がないと誰とも話せないし、どこにも行けないから。命を優先して行動しようと思いました。命がどれだけ大切か、前よりもっと分かりました。

自分には、4才の弟がいるけど、今まで以上に大事にしていこうと思いました。



避難訓練、引き渡し訓練を行いました。

5月28日5校時から、避難訓練と引き渡し訓練を行いました。今回の避難訓練は、震度6強程度の大きな地震が発生し、家庭科室から出火したということで行いました。揺れが収まった後、火災発生を知らせる機器が作動し、担当の教職員が火元に急行し、消防署に連絡する、平行して子どもたちには大きな声で避難を呼びかける、というようにできるだけ「本当に起きた場合」に備えて、子どもたちも私たち教職員も動きました。何より、子どもたちを安全な場所にできるだけ早く避難させるということに重点をおいて訓練しました。

その後の引き渡し訓練で、保護者の皆様には「引き渡し」の意義をご理解いただき、お忙しい中、早い時間からおいでいただきましてありがとうございました。今回の取組を振り返り、「引き渡し」が必要な事案が発生した際に、お子様を確実に保護者の方にお渡ししていきたいと思えます。



最近の子どもたちの様子



今年度初めてののこにこタイム。6年生のリーダーを中心に自己紹介をしたり、ゲームなどをして楽しいひとときを過ごしました。



1・2年生交流会:6月5日に実施予定の遠足を前に、グループで楽しい時間を過ごしました。